



# 「ひとが一番」の強く優しい地域づくり

# いとう 英治 通信

～三原・世羅 & 広島のために～

For MIHARA・SERA & HIROSHIMA

令和4年10月  
第7号

## 4年間の軌跡

一市民であった私が県議会議員になって3年余り、多くの経験と勉強をさせていただきました。

### 平成30年

6月 県議選に出るよう説得される



7月 西日本豪雨災害  
3m浸水し被災者となる



8月 災害復旧に明け暮れる



出馬断念

10月 周りの応援により再度出馬決意

### 平成31年

1月 後援会長が決まる  
3月 選挙活動



4月 涙の当選

### 〈県議としての歩み(ごく一部です)〉

#### 令和元年

5月～ 復興現場の調査を始める



3月 初めての県政報告会・座談会を開催



#### 令和2年

1月 佐木島航路の運賃値上げに対する支援要望を市議・町内会長から受ける。  
県に確認、市長に熱願し激変緩和措置の実現。



8月 世羅中央病院にPCR検査機器導入支援を要望

12月 尾三地域にPCR検査場所の設置要望

#### 令和3年

河川改修や崩落改修の進捗・危険ため池・治山ダムを随時調査



4月 三原でコロナ・クラスター発生のため、三原市長と協働しPCR検査場設置早期要望  
委員長・会派会長に相談、執行部の決定 三原港湾に実現



5月～

PCR検査場の設置延長の要望を続ける



7月 豪雨による被害・被災箇所の現地調査



天井川の破堤を改良復旧するよう要望



9月 国道56号線井庄原トンネル内照明の修理・LED化要望 実現



9月 岸田首相誕生



10月 天井川改良復旧の実現

#### 令和4年

河川改修や崩落改修の進捗・危険ため池・治山ダムを随時調査



7月 三原特別支援学校でエアコンが故障。  
保護者からの相談を市議を通して受ける。  
あらゆる手を尽くすよう強く要望し実現。





# ひとが一番!!



〈予算特別委員会会場風景〉

## 令和4年 予算特別委員会 (質問・答弁とも抜粋)

### 「広島お知らせ QR」の取り組みについて



#### 健康福祉局長

今後は、感染対策を行いながら、社会経済活動を維持する中で、特に大規模イベント等について参加者を効率的に把握し、クラスター発生時等に速やかに通知できる手段として、活用促進してまいりたいと考えております。

### 防災アプリの利用促進にかかわる PDCA について

**問** 次の出穂期を迎えるに当たり、防災アプリの利用促進にかかわる PDCA をどのように回していこうと考えているのか伺う。

#### 危機管理監

デジタルマーケティングの専門家にもご助言をいただきながら、アクセス数などを計測し、成果を解析した上で、2週間おきに媒体の見直しを行うなど、短期間で PDCA を回しているところです。引き続き高価の高い方法を実施し、県民の皆様にご利用いただけるよう、取り組んでまいります。

### 「オトモポリス」の今後の機能改善について

**問** 「オトモポリス」の今後の機能の充実に関する見通しについて伺う。また、今後の機能改善に係わる費用の見通しについて伺う。

#### 警察本部長

運用に関する予算は、令和9年1月までの5年契約で1,925万円であり、毎月の運用保守費用は、20万9,000円です。

運用保守には軽微なシステム変更や回収作業が含まれており、オトモポリス導入後も、女性安全ステーションの情報を追加するなど、機能の充実に努めているところです。

### 月次支援金の申請に係わる利便性向上について

**問** IDの付与により様々な申請における入力情報を紐づけするなど、国のシステムを見習った機能改善が行われるべきと考えるが、今後の利便性向上の見通しについて伺う。

#### 商工労働局長

新型コロナウイルス感染症の影響は、今後も続くことが予想されることから、現在、国のシステムを参考に、ご指摘のマイページ制の導入やシステム改善について、検討を進めているところです。引き続き、利便性の向上に向けて、取り組んでまいりたいと考えています。

### 広島型 MaaS 推進事業おける今後の展望について

**問** 庄原市で取り組んだ実証実験の結果から見えてきた課題などを踏まえ、島しょ部や都市郊外等へ展開も含めた今後の実現可能性について伺う。

**知事**

AI オンデマンドバスを運行し、広島型 MaaS の実証実験を行った。今後、見出された課題も踏まえ、学者、データ分析の専門科などによる広島型 MaaS 検討会において、事例の蓄積や課題解決の方策の検討を行い、横展開することにより、実現可能性を高めてまいります。

**広島型 MaaS 推進事業で得られるモビリティデータの活用について**

**問** 利用者の移動情報を蓄積するデータベースである「モビリティデータ基盤」を構築することとしているが、まちづくりや都市計画等への活用について、どのように検討しているのか伺う。

**地域政策局長**

多様なモビリティデータは、単に交通分野のみならず、まちづくりや都市計画の分野にも活用できる可能性を有していると考えられることから、具体的なデータの活用方法などについて、研究を進めてまいります。

**広島型 MaaS 推進事業における人材育成について**

**問** 交通データの分析や活用にも長けた人材を各市町に育成する必要があることから、県としても、しっかりと身を投じて市町に伴走する必要があると考えるが、人材育成の方向性について伺う。

**地域政策局長**

地域公共交通計画の作成をテーマに、仮説の構築、データによる仮説検証、成果指標への落とし込みなど、交通データの分析や活用も盛り込んだ内容としています。引き続き、人材育成を進め市町職員の実践的な能力向上を図ることで、広島型 MaaS のよりいっそうの展開・充実を図っていきます。

**第2期「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランにおける幼保小連携・接続の推進について**

**問** 小学校の生活にうまく移行できない子供もいるようだ。こうした課題に対応してこられている事は理解している。第2期プランでさらに強化していくとのことだが、今後どのように取り組むのか伺う。

**教育長**

乳幼児期の教育・保育の理念が、小学校においても共感的に理解され、子どもたちがそれぞれの関心や経験、育ちの状況に応じて主体的に参加できる授業が開発されるよう、全ての初任者を対象に、園・所等での

保育を体験する研修など、新たな取り組みにも着手してまいります。

**叡啓大学における教員の確保状況について**

**問** 学生を導き後押しする教員の確保状況について伺う。

**環境県民局長**

初年度は、カリキュラムに対応した専任教員18名が学生指導にあたっておりますが、2年時から本化する課題解決演習やデータサイエンスなどを担当する教員8名を新たに採用します。これにより、文部科学省から認可を受けた教員体制が整う予定である。

**叡啓大学における国際競争力ある人材の育成について**

**問** 変革と競争を恐れず、真の意味で世界に通用する人材が必要と考えるが、叡啓大学ではどのような人材育成を目指しているのか、その人材をどのように育てているのか伺う。

**知事**

多様な価値観が集うキャンパスを構築し、日英二か国語授業や国際学生寮における共同生活を通じて、留学生と日本人学生が切磋琢磨する中でコミュニケーション能力だけでなく、多文化を理解し、多様性を尊重する力の向上を図っている。



**教員等による犯罪を予防するための取り組み**

**問** 子供の健やかな成長や、穏やかで幸せな暮らしを後押しするはずの教員等が、「誇り」や「挑戦」の土台となる「安心」を揺るがすことは許されない状況であり、予防する手立てを取るべきと考えるが、所見を伺う。

**教育長**

「日本版 DBS」制度にかかる国の検討情報を注視する。また、個々の教員が孤立しない相談環境づくりや、不祥事防止に取り組む校長への早い段階からの支援、さらに、「いのちの安全教育」推進など、あらゆる手段を講じて、児童生徒を守っていきます。



〈令和4年9月定例会会場風景〉

## 令和4年9月定例会（一般質問要旨+答弁）

### 1 技術を活用した医療・介護サービスの効果的・効率的な提供について

#### (1) 「D to P with N」によるオンライン診療の実用化と県全域への普及について

**問** 「D to P with N」によるオンライン診療の実用化、及び、県全域、特に中山間地域や島嶼部等の条件不利地域に早期に普及していく上で、どのような課題があると捉え、また、その解決に向けてどう取り組んでいこうとされているのか、知事のご所見をお伺いいたします。

#### 知事（健康福祉局）

オンライン診療は、医療資源が限られている中山間地域や、外出が制限されるコロナ禍において、必要な医療への受診機会の確保という観点から、有用なものと認識しております。

今後とも、規制緩和に向けた国の議論を注視しつつ、医師会などの関係団体と連携し、オンライン診療の安全で適切な利活用に向けた取組を推進してまいります。

#### (2) デジタル技術を活用した医療・介護サービスの効果的・効率的な提供について

**問** HMネット等を基盤としたデジタル技術を活用した、医療・介護サービスの効果的・効率的な提供について、協議会の構想を踏まえ、県として、今後、どのようなロードマップを描き、5年先、10年先を見据えた実効性のあるイノベーションをどのように展開されていくのか、知事のご所見をお伺いいたします。

#### 知事（健康福祉局）

将来的には、集積する診療情報などのデータを活用し、本県の地域医療の向上や、大学や民間企業とも連携し高度医療の実現に資する治療研究につながる方策

について、検討を進めてまいります。

今後とも、国におけるデータヘルス改革などの動向も注視しながら、デジタル技術を生かし、安心して暮らし続けることができる医療・介護サービスの提供体制の確保に努めてまいります。

### 2 県内企業の事業継続につながる入札契約制度のあり方について

**問** 必死で事業継続を行っている県内企業を、県の制度として応援できる、物品や各種業務委託、建設工事に係る入札制度のあり方等について、是非、早急に検討いただきたいと考えますが、知事のご所見をお伺いします。

#### 土木建築局長

物価高騰による影響に対しましては、最新の建設資材価格等を予定価格に反映するとともに、契約後の急激な価格変動に対しては、契約約款に規定するスライド条項に基づき、一定の条件を満たす場合において契約額の変更を行うこととしており、今年6月からは、受注者の実際の購入価格を用いて契約額の変更を行うことを可能とするなど、より実情に即した対応となるよう運用を見直したところでございます。

これらの取組を進めながら、公共調達における経済性・公正性・競争性を確保しつつ、地域の実情や課題を把握した上で県内企業の事業継続が図られるよう引き続き、適宜・適切に入札契約制度の見直しを行ってまいります。

### 3 日本一の教育県を目指す広島県への提案について

#### (1) 教職員による犯罪根絶に向けた取組について

**問** 教職員による犯罪根絶に向け、既に行われている対策を含め、今一度、さらに効果的な対策について、不断の取組を強化していただきたいと考えますが、教育長の強い決意をお伺いします。

**教育長**

児童生徒が被害に遭わないようにするための取組といたしましては、今後開催する保健主事研修や生徒指導主事研修などを通じて、「生命の安全教育」の取組を充実させ、児童生徒が不快な思いをした時に、信頼できる大人に相談したり、訴えたりすることができる力の育成を図ってまいります。

県教育委員会といたしましては、子供たちが安心して学ぶことができる環境をつくるため、市町教育委員会や校長会など、全ての教育関係者と力を合わせて、教職員によるわいせつ行為の根絶に取り組んでまいります。

**(2) 固定担任制の廃止による不登校の未然防止について**

**問** 先ほど触れた教員による性犯罪や、不登校の未然防止にもつながる、固定担任制の廃止を広めていくことは、まさに、今、県が力を注がれている、「学びの変革」の趣旨ともマッチする取組であると考えますが、県教育委員会として、今後、どのように取り組んでいこうとされるのか、教育長のご所見をお伺いします。

**教育長**

「全員担任制」など学級担任を固定せずにチームで対応する取組につきましても、県内外の好事例について研究し、市町教育委員会へも紹介していくことで、各学校における児童生徒への支援がより深まるものとなるよう取り組んでまいります。

**4 広島県における農業政策について**

**(1) あるべき「農」と「食」の姿について**

**問** 広島県の農業の生産性向上や食料自給率アップにどうつなげていくのか、また、世界情勢を視野に中長期的な視点を持った、あるべき「農」と「食」の姿を見つめ直すことに繋がる施策への昇華について、知事のご所見をお伺いします。

**知事（農林水産局）**

今年度創設いたしました「食のイノベーション推進事業」によって、農業経営体が他の分野の企業とプロジェクトを組み、双方のノウハウを融合してイノベーションを起こす取組を開始したところであります。本県農業の更なる発展に向けまして、担い手が中心となった生産構造の構築を着実に進めることを基本としつつ、イノベーションを生み出し社会情勢の急激な変化にも対応できる強くしなやかな経営体を育成してまい

ります。

**(2) 里山を守る田畑の持続的な管理について**

**問** 防災・減災にも資する、田畑の持続的な管理に向けて、県内市町やJA等とも有機的に連携するなど、地域の特性を踏まえた取組を推進していく必要があると考えますが、どのように認識し、今後、取り組んでいこうとされているのか、農林水産局長のご所見をお伺いします。

**農林水産局長**

県といたしましても、里山の農地が持つ多面的機能の発揮に向け、多様な主体が参加しながら農地を守る手法を提案するとともに、地域の取組が着実に実施され持続的なものとなるよう、市町や関係団体と連携して取り組んでまいります。

**5 広島空港アクセスの強化及び三原内港地区の港湾振興について**

**(1) 広島空港アクセスの強化について**

**問** 現時点において、改めて、中四国地方の拠点空港である広島空港の長期的な視点に立った真のアクセス強化の方向性を、軌道系アクセスの可能性を含め、どのように認識されているのか、知事のご所見をお伺いいたします。

**知事（土木建築局）**

将来予測を踏まえた分析を行い、最適な交通モードや運行形態を含めて、将来的に持続可能な仕組みを検討するなど、中長期的な視点に立った取組を進めることとしております。今後とも、中四国地方の拠点空港として、広島空港を利用する県民の皆様や国内外から訪れる方々が、より便利で快適に移動できる空港アクセスネットワークの構築に向けて、H I A P（ハイアップ）など関係者と緊密に連携しながら、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

**(2) 三原内港地区の港湾振興について**

**問** 三原内港地区の再生に当たって、県としての役割をどのように捉え、実施に結び付けていかれるのか、土木建築局長のご所見をお伺いいたします。

**土木建築局長**

今年度は実施計画の策定に向け、港湾施設の規模やレイアウトの検討を行うため、三原内港地区の利用者を対象に利用実態やニーズ調査を実施したところでございます。

県といたしましては、この調査結果を踏まえ、三原港湾ビルの機能の在り方をはじめ、港を生かした新たな賑わいの創出などが図られるよう、三原内港地区の再生の実現に向けて、引き続き、市や関係者と連携を図りながら、積極的に取り組んでまいります。



# ひとが一番!!

## 写真で見る活動報告

### 祈念

時間があるときは、地域にある神社へお参りし、手を合わせ地域の皆様の安寧を祈願しています。



久井稻荷神社にて



大和町 亀山神社にて

### 災害復旧・河川改修

改良復旧の進む天井川は2度も破堤した経緯があり、進捗を何度も確認にいきました。



### 文教委員会

コロナによって激変した学校の取り組みや組織的な課題等についての質疑・要望。



### 拉致問題

拉致問題の解決を望む議員連盟で蓮池薫（拉致被害者で帰国が叶った方）さんに会いに行き、当時の生々しい話や現在の状況などを聴きました。

5人の帰国は叶いましたが、それで終わった訳ではないことを街頭で訴えました。



蓮池さんと面談



### 小早川家

小早川隆治様（現小早川家当主）から伝来の宝物を三原市に譲っていただき、展示会やトークショーがありました。



### ものづくり県広島県を支える人材育成

地元の総合技術高校に視察に行き、説明していただきました。校長先生を始め、指導教員から熱心に説明を受けました。ここで学んだ学生の将来が楽しみです。



### デジタル・トランスフォーメーション推進・行財政対策特別委員会

部局を横断した取り組みについて、疑問点を質疑・要望。



### 港湾

港湾の審議委員を拝命したこともあり、現状を見て回りました。



黄色い枠の中は、石でできた係留柱が沈んでいます。なんとか、残したいと思っています。



### 遊休施設

県の所有している遊休施設の有効活用(売却含む)について調査。



港湾倉庫(三原)



職員公舎(世羅)

### 建設関連調査

#### 河川改修



#### 危険橋梁



### 危険道路



### 第一次産業関連調査

日本の基幹である第一次産業を守っていきます。

#### 安佐北(花)



#### 世羅菜園(トマト)



#### 大和 果実の森(フルーツ)



### 農事法人活動(枝豆摘み)



### 獣害対策研修会



### 地域密着

さまざまなイベントを通して、地域の声を聞いていきます。

#### 健康増進(グランドゴルフ)



#### 世羅ファミリーマラソン



#### もうもうカフェオープン



#### 三原青年会議所60周年



まちづくり・ひとづくりについて学ばせて頂き、この時の経験を活かしています。

#### ゴミ拾い(駅周辺)



#### ゴミ拾い(川土手)



#### 鯉のぼり



伊藤英治通信は、夏と冬に年2回発行させていただいておりますが、期間が開くためタイムリーに話題を提供出来ていない事については、承知しております。しかし、デジタルに不慣れな方へは紙面による情報提供が重要と考えておりますので、乱文は承知しておりますが、引き続き発行して行きたいと思っております。タイムリーな情報発信につきましては、SNS (Facebook, LINE, Instagram等)で行っておりますので、友達申請やフォローをお願い致します。ニックネームではなく完全に名前を公開しておりますので、「伊藤英治」で検索してください。

## 皆様の声を受け止め、伝えます!

### 県政報告会・意見交換会

皆様からの様々なご意見をいただくため、政治離れを防ぐために随時行っています。

わかりやすく説明するため、プロジェクター、スクリーン、マイク、スピーカーは持参します。感染予防のため、検温器、消毒液、マスクも持参します。

お気軽にお声がけください。どこでも、何人でも結構です。



スクリーン  
プロジェクター  
マイク・スピーカー

## 皆様のご要望

皆様が必要としている事を行政に実現してもらうには、図の通り2つの方法があります。

**請願**は紹介議員が必要ですが、**陳情**は必要ありません。しかし、行政と県民の間にいる議員は調整力もあるため、陳情でもうまく使ってください。皆様の為にいるからです。

請願・陳情の流れ 誰でも請願・陳情することができます



## 伊藤英治の情報発信

Facebook 【ほぼ毎日更新】  
www.facebook.com/itoeiji55



ブログ 【不定期更新】  
ameblo.jp/itoeiji



YouTube 動画配信【不定期更新】  
youtube.com/user/itoeiji55



皆様のご意見・ご要望をお寄せください

☎ 0848-60-9022 ✉ info@itoeiji.com

いとう英治ホームページでは、ご意見・ご要望を送信画面よりお送りいただけます。また、より詳しい情報、日々の活動も随時ご覧いただけます。ぜひご活用ください。

メール ホームページ Instagram twitter

